



# いわき YEG 主催 ジュニアエコノミーカレッジ 2019 事業報告書

実施期間 : 令和元年 7 月 21 日(日)~令和元年 12 月 22 日(日)

運営主管 : いわき YEG ひとづくり委員会

# 目次

事業概要	P1
カリキュラム	P2
ドリームセミナー（※サポーターセミナー）	P3～P6
アクティブセミナー	P7～P9
販売実践	P10
まとめセミナー／決算発表会／グランプリ表彰式／総括	P11～P15

## YEGとは？

「YEG」とは商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったもので、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野）を持った経営者 = Youth, Energy, Generalist を表しています。

### ◆ロゴマーク



### ◆いわき YEG ゆるキャラ「たいらもん」



## いわき商工会議所青年部

### 「ジュニアエコノミーカレッジ in いわき 2019」事業概要

#### 《実施の目的》

近年の地方都市では、人口減少や中小企業の経営難によって地域社会の活力低下が危惧されており、いわき市においても、今後、同様の傾向が見られると危惧される。このような中、いわき商工会議所青年部では、地域の次世代を担う子どもたちに「生きる力」、「考える力」を育んでもらい、将来起業を志して欲しいとの強い思いから、「ジュニアエコノミーカレッジ in いわき」を実施している。【今年度で9回目の実施】

ジュニアエコノミーカレッジは、小学校5・6年生を対象として、商売の基本、社会のルールなどを学びながら、実際に商売体験をしてもらい起業家精神を養うことを目的として実施するものである。

#### 《主催》

いわき商工会議所青年部（担当：ひとづくり委員会）

〒970-8026 いわき市平字田町 120 ラトブ 6F TEL:0246-25-9151 FAX:0246-25-9155

#### 《後援》

- ▽いわき市
- ▽いわき市教育委員会
- ▽いわき商工会議所
- ▽福島民報社
- ▽福島民友新聞社
- ▽いわき民報社

#### 《協力》

- ▽平第一小学校
- ▽イトーヨーカドー平店

#### 《協賛企業》

- ▽東洋システム（株）
- ▽ひまわり信用金庫
- ▽いわきアカデミア推進協議会

#### 《実施内容》

市内の小学校5・6年生が、5人1チームで模擬の株式会社をつくり、自分たちで商品計画や収支計画を取りまとめ、会社経営を体験する。

ドリームセミナーやアクティブセミナーでは、株式会社や商売の仕組み、さらには帳簿のつけ方や接客マナー等について学び、自分たちで仕入原価を計算し、売価や目標売上高を設定する。株主（家族等）から出資してもらった「資本金」10,000円（@1,000円×10名）と、銀行（商工会議所青年部）からの「借入金」10,000円の最大20,000円を元手として、より多くの利益を出すことを目指す。

学んだことの総決算として、11月に、平第一小学校にて商品の下準備を行った後、イトーヨーカドー平店で販売実践を行う。

最後に決算をまとめ、これまでのセミナーの成績や販売実践の実績を総合的に評価して、最も優秀なチームをグランプリとして表彰する。

## □ カリキュラム

### 申 込

対象は市内の小学校 5・6 年生。  
5 人で 1 チームでのエントリー。

① ドリームセミナー  
(サポーターセミナー)  
7/21(日)  
▼東日本国際大学

ジュニアエコノミーカレッジのルールや、株式会社の仕組みについて学ぶ。また、チームの会社名や役職名を決定する。  
同時間帯に、保護者を対象としたサポーターセミナーを開催し、参加児童との関わり方や起業教育について説明する。

② アクティブセミナー  
9/7(土)～ 8(日)  
▼海浜自然の家

ドリームボード(商品計画、収支計画等)を作成し、ビジネスマナーについて学ぶ。ひまわり信用金庫のご協力を基に、参加児童は模擬銀行への借入申込のプレゼンテーションを行うなど具体的な準備を進める。

③ 販売実践 11/23(土)  
▼平第一小学校(準備)  
▼イトーヨーカドー平店

資本金及び借入金を元手として仕入れをし、実際に商売を体験する。各チームが企画した商品を実際に一般客相手に販売する。  
(例年、10月の開催だが、台風第19号の被害等により延期したものの。)

④ まとめセミナー  
⑤ 決算発表会  
⑥ 寄付金贈呈式  
⑦ グランプリ表彰式  
12/22(日)  
▼東日本国際大学

決算報告書を作成し、利益処分(税金、役員報酬、配当金)を行い、各チームの決算を発表し、優秀チームを表彰する。また、売上の10%を税金として、いわき市に納税(寄付)する。  
(例年、11月の開催だが、台風第19号の被害等により販売実践を11月に開催したため、12月に延期したものの。)

□ 募集結果（申込順）

▽ 市内小学校全ての5・6年生やいわき市教育委員会所管施設等（※）へ募集チラシを配布した結果、下記のとおり申込があったもの。

No.	小学校名	学年	人数
1	中央台東小学校	6年生	女子5名
2	中央台東小学校	5年生	女子5名
3	中央台東小学校	6年生	女子5名
4	中央台南小学校	5年生	女子5名
5	中央台東小学校	6年生	女子5名
6	夏井小学校	6年生	女子5名

★ 市内3小学校 6チーム 参加者30名

※ 主な配布先（掲示先）…イトーヨーカドー平店、いわき市文化センター、保健所 総合図書館、いわき駅前・泉駅前ペDESTリアンデッキ

▽ 第9回のジュニアエコノミーカレッジは、全参加者が女子児童であり、本事業開始して以来、初めて男子児童の参加がなかった。

▽ また、本年度参加者の中には過去の参加者の妹や小学5年生から引き続き参加された児童も数名おり、保護者や児童がジュニアエコノミーカレッジに興味を持っていただいているとともに、本事業が子どもにとって良い事業であると認識されていると感じた。

しかしながら、青年部会員や事務局において、小学校等に広報に伺うと、事業を初めて知ったという先生やチラシが小学校に配布されていることを知らなかった先生も多くいらっしゃったことから、次年度以降の募集案内や事業の周知方法について時期と手法を検討していきたい。

さらに、本年度は参加児童が前年度と比較すると5名減となっている。本年度は、今上天皇の即位等による祝日が増えたことに伴い、土曜の通学が増え、学校によっては参加できない日程となったことも考えられるものの、減少した原因についても、併せて検討していきたい。



**めざせ!! 未来の社長**

**第9回 2019年 ジュニア エコノミーカレッジ in いわき**

いわき商工会議所青年部

**対象** いわき市内の小学校5・6年生 **参加者募集!** (土) 5人1チームで10チーム(50名)

**自分たちの会社を設立して、実際にお店を出して販売。日常経験できないプログラムに参加してみませんか。**

いわき商工会議所青年部では、いわき地域の次世代を担う子どもたちに、「考える力」「行動する力」を育ててもらいたいとの強い思いから、「ジュニアエコノミーカレッジinいわき」を実施いたします。「ジュニアエコノミーカレッジinいわき」は、実際に販売体験をしてもらいながら、販売の基本や社会のルールなどを学んでもらい、働くことの喜びや起業家精神を養うことを目的としています。

**●ジュニアエコノミーカレッジの流れ**

- 7月21日** ドリームセミナー+サポーターセミナー  
(場所)東日本国際大学  
ジュニアエコノミーカレッジのルールや、株式会社の仕組みについて学びます。同時並行に保護者を対象としたサポーターセミナーを開催し、事業内容やことものと関わり方について説明します。
- 9月7日/8日** アクティブセミナー  
(場所)海井自然の家  
自分たちの売りたい物やお店のディスプレイなどを考えて、計画書を作成し、説明します。
- 10月20日** 販売実践会  
出資者(家族など)@1,000×10名)から集めた資本金を元手に仕入れをし、実際に商品を販売します。
- 11月17日** まとめセミナー+グランプリ表彰式  
(場所)東日本国際大学  
・まとめセミナー  
決算報告書を作成し、利益処分(税金、役員報酬、配当金)を行います。  
・グランプリ表彰式  
販売実践の結果から、グランプリを発表し、表彰を行います。

注)上記日程と会場は予定であり、該事情により変更となる場合もございます。事前にご了承ください。セミナーに参加できない場合でも、参加料は一律5,000円です。

**募集要項**

対象 小学校5・6年生  
募集定員 5人1チームで10チーム(50人)※異なる小学校の合同チームでも可。  
※募集定員を超えた場合は抽選となります。  
参加料 1人5,000円(予金代、施設代、セミナー代など含む)  
※7/21日のドリームセミナー当日ご持参ください。  
※申し込み後、一部の行事に参加しなくても返金はいたしませんので、ご了承ください。  
参加申込 裏面参加申込書に1チームの必要事項をご記入の上、事務局までファックスまたは郵送でお申し込みください。

**お問い合わせ・お申し込み**

いわき商工会議所青年部事務局  
〒970-8026  
いわき市平字田町120 ラトフ6F  
TEL:0246-25-9151  
FAX:0246-25-9155  
E-mail:r-chiba@wakicci.or.jp

※チラシに掲載されている写真は19年度のジュニアエコノミーカレッジの様子です。

YEG

主催 いわき商工会議所青年部  
後援 いわき市、いわき市教育委員会、いわき商工会議所、いわきアカデミア推進協議会、福島民報社、福島民友新聞社、いわき民報社  
協賛 ひまわり信用金庫、東洋システム株式会社

↑ ジュニアエコノミーカレッジ2019募集チラシ

## 1 ドリームセミナー

開催日時：令和元年7月21日（日）

詳細スケジュールは下記参照

開催場所：東日本国際大学 新1号館 1階 101号室

時間	内容	備考
13:00~13:15	開会・資料確認・挨拶	
13:15~13:25	ジュニアエコノミーカレッジについて	基本的な考え方 日程及び事業の流れの説明
13:25~13:45	株式会社について	株式会社、株主についての説明
13:45~14:15	会社登記デスクワーク	会社名、役職、キャッチコピーの決定
14:15~14:30	休憩	—
14:30~14:50	会社紹介	参加児童が登記事項や意気込みを発表
14:50~15:05	商売って何だろう	売価・原価・利益・付加価値についての説明
15:05~15:15	休憩	—
15:15~15:55	商品のルール	商品のルール説明
15:55~16:25	食品のルール	食品を取り扱う場合のルール説明
16:25~16:30	休憩	—
16:30~16:45	宿題と次回について	宿題及び合宿（アクティブセミナー）について説明
16:45~17:00	質疑応答・閉会・解散	

### サポーターセミナー（ドリームセミナー開催中の保護者説明会）

開催日時：令和元年7月21日（日）

詳細スケジュールは下記参照

開催場所：東日本国際大学 新1号館 2・3階 201号室

時間	内容	備考
13:15~13:25	開会・主催者挨拶	
13:25~13:50	ジュニアエコノミーカレッジの趣旨	自己責任と自分力について サポーター（保護者）の役割を説明
13:50~14:30	商品のルール	商品のルール説明
14:30~14:50	食品のルール	食品を取り扱う場合のルール説明
14:50~15:20	宿題と合宿の案内	合宿（アクティブセミナー：日程、宿題、持ち物、同意書等）の案内
15:20~15:35	質疑応答・閉会	
15:35~	DVD上映	昨年度の事業の様子を視聴

参加人数：参加者 27名・保護者 35名・運営スタッフ 9名

（ドリームセミナー、サポーターセミナー合計）

- ▽ 青年部会員が講師となり、ジュニアエコノミーカレッジのルール等について学んだ後、各チームにて会社名・役職やキャッチコピーについて話し合い、発表を行った。
- ▽ 保護者を対象としたサポーターセミナーでは、参加児童の自己責任と自分力を伸ばす事業であることから、保護者の関わり方を最小限にとどめてほしいとの説明を行った。また、保護者からは、今後の事業の流れについて質問があった。

## <ドリームセミナーの様子（写真）>

青年部会員の講義（その1）



会社名・役職など話合い（その1）



キャッチコピーや会社名を皆の前で発表



青年部会員の講義（その2）



会社名・役職など話合い（その2）



9月までの宿題の内容を聞く参加児童



## <サポーターセミナーの様子（写真）>

濱津会長の主催者挨拶



事業趣旨説明に耳を傾ける保護者



販売商品の説明を受ける保護者



9月開催の合宿の説明を受ける保護者



<会社情報（会社名・キャッチコピー）>

No.	小学校名 学年 人数	会社名	キャッチコピー
1	中央台東小学校 6年生 女子5名	株式会社 POPSmile	はじける Smile <sup>®</sup>
2	中央台東小学校 5年生 女子5名	株式会社 Flower.nico	はなやかな笑顔で商品を売ります♪
3	中央台東小学校 6年生 女子5名	株式会社 shynysmile	笑顔で夢に向かってかがやこう♪
4	中央台南小学校 5年生 女子5名	株式会社ほしぞら	星のように笑顔で接客します
5	中央台東小学校 6年生 女子5名	株式会社 Happydream	みんなの夢を幸せにします。
6	夏井小学校 6年生 女子5名	株式会社 ForestHarmony	1人1人のアイデアで幸せな Harmonyを

▽ ドリームセミナーを経て、6社が今後の事業へ取り組んでいくこととなった。今後は、販売する商品やその数量、店づくり及び接客について考えていくこととなった。



## 2 アクティブセミナー

開催日時：令和元年9月7日（土）～8日（日）

詳細スケジュールは下記参照

開催場所：いわき海浜自然の家

参加人数：参加者30名・運営スタッフ2日間延べ28名

### 9月7日（土）

時間	内容	備考
14:00～14:15	開会・開会挨拶	
14:15～14:30	オリエンテーション	施設利用の注意事項
14:30～14:50	ビジネスマナー	自己紹介、名刺交換等のマナー講義
14:50～14:55	休憩	—
14:55～15:40	商品プラン作成	原価、利益の計算方法についての講義
15:40～18:10	ドリームプラン作成 商品プランワーク（45分） 店づくりプラン講義（30分） 休憩（15分） 店づくりプランワーク（60分）	原価、価格、利益の計画づくり 接客や飾付けの意義について — 店の飾付け及び接客の計画づくり
18:10～18:50	夕食	
18:50～20:20	ドリームボード作成	事業計画のまとめ ※ドリームボードとは、事業計画書のこと で銀行役への借入や保護者に株主になっ てもらう際の説明に使用する。
20:20～21:30	入浴・自由時間	
21:30～	就寝	

### 9月8日（日）

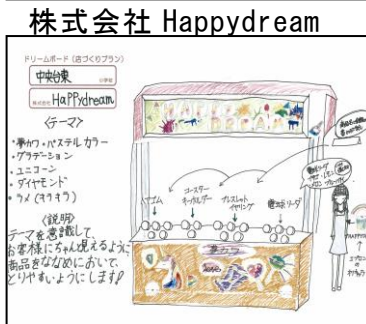
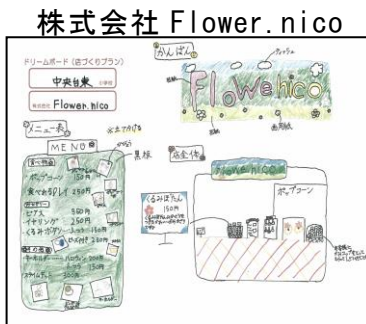
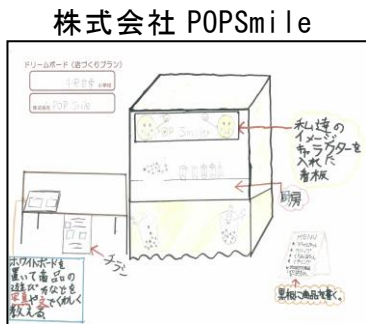
時間	内容	備考
6:30	起床	
6:30～7:30	清掃・退出準備	
7:30～8:10	朝食	
8:10～8:50	帳簿セミナー	帳簿のつけ方についての講義
8:50～9:10	プラン発表について	事業計画説明の講義、銀行紹介等
9:10～11:10	銀行審査、プレゼンテーション	銀行（銀行役：ひまわり信用金庫社員 7名の方々）への事業計画説明
11:10～11:40	食品取扱上の注意	保健所職員による食品衛生の講義
11:40～12:30	昼食・自由時間	
12:30～13:00	質疑応答・閉会・解散	
13:00～	株主（保護者）への計画説明	

▽ プランワークでは、販売実践で販売する商品や店づくり（飾付け）の計画、さらには資本金・仕入額・目標売上高など模擬会社の収支計画を考えるとともに、商品プランやドリームプラン（下記参照。A3の厚紙にまとめたもの）を作成、模擬銀行にプレゼンテーションを行う準備を行った。

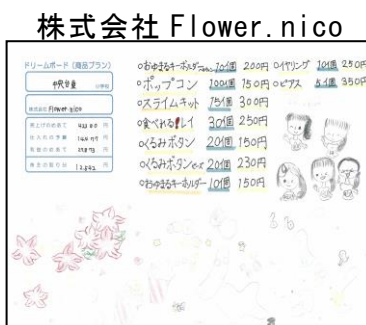
▽ 帳簿のつけ方やビジネスマナーの基本等について学び、模擬銀行（ひまわり信用金庫の社員の方々が審査役）に対する借入のためのプレゼンテーションを行った。

▽ 最後に、実践販売に係る食品取扱上の注意点（講師：いわき市保健所職員）について学んだ。

<ドリームボード（店づくりプラン）>



<ドリームボード（商品プラン）>



<アクティブセミナーの様子（写真）>

施設利用の注意事項



商品づくりや店の飾付けを話し合い



ドリームボード作成



銀行審査、プレゼンテーション



ビジネスマナーについて学ぶ



他会社（チーム）と名刺交換



模擬銀行役のひまわり信用金庫の皆様



食品取扱前の手洗いを実践



### 3 販売実践

開催日時：令和元年 11 月 23 日（土）

開催場所：平第一小学校家庭科室・イトーヨーカドー平店

参加人数：参加者 29 名・保護者約 20 名・スタッフ 14 名

模擬会社ごとに資本金・借入金を元手に仕入れ、商品を揃え販売。販売品目下記参照

会社名	販売品目
株式会社 POPSmile	タピオカドリンク、イヤリング、キーホルダー 他
株式会社 Flower.nico	ポップコーン、くるみボタン 他
株式会社 shinysmile	ホットドッグ、ハワイアンコースター、しおり 他
株式会社ほしぞら	ほしぞらドリンク、コースター 他
株式会社 Happydream	電球ソーダ、ハイビスカスコースター 他
株式会社 ForestHarmony	いわき野菜たっぷり！コンソメスープ、一筆箋 他

#### <販売実践当日の様子（写真）>

平一小家庭科室にて下準備



開店式

商品陳列・店舗飾付



営業・接客・販売等



完売・売上計算・解散



閉店式



#### 4 まとめセミナー／決算発表会／寄付金贈呈式／グランプリ表彰式

開催日時：令和元年 12 月 22 日（日）

詳細スケジュールは下記参照

開催場所：東日本国際大学 新 1 号館 1 階 101 号室（まとめセミナー）

〃

2・3 階 201 号室（決算発表会 他）

#### 来 賓

御役職	御芳名
いわき市長	清水 敏男 様
いわき商工会議所 会頭代理（総務理事兼企画総務部 部長）	小野 英二 様
ひまわり信用金庫 理事長代理（本店営業部 部長）	新城 美樹雄 様
（いわきアカデミア推進協議会より）いわき経済同友会 常任幹事	松崎 總一郎 様

参加人数：参加者 28 名、保護者約 40 名

（来賓以外の）ひまわり信用金庫職員の方々 2 名、スタッフ 13 名

時 間	内 容	備 考
まとめセミナー		
10：30～10：35	開会・主催者挨拶	
10：35～10：40	税金・利息の話	
10：40～10：55	決算報告書作成	提出用決算書を記入、回収
10：55～11：25	税金・利益等計算	株主配当や報酬等を分け、社長が税務署（事務局）へ税金を提出
11：25～11：55	会社を解散する	借入金の返却など
11：55～12：00	休憩	—
決算発表会準備		
12：00～12：05	決算発表会の説明	
12：05～12：25	レポート内容検討	発表内容の検討
12：25～12：55	ドリームレポート作成	提出（発表）用のレポートを清書
12：55～13：45	昼食	
13：45～13：55	御礼状の清書	
13：55～14：10	アンケート記入等	
14：10～14：25	閉会・会場準備	参加者着替え発表練習
決算発表会・寄付金贈呈式・グランプリ表彰式		
14：25～14：30	発表会開会	
14：30～15：20	決算発表会	発表 5 分・質疑 2 分
15：20～15：40	審査及び 本年度ダイジェスト版 DVD 上映	
15：40～15：45	修了式	
15：45～15：55	市長挨拶・寄付金贈呈式（納税）	各社社長より目録（税金）が渡された
15：55～16：25	各賞発表及び総評	
16：25～16：30	閉会	

## ▽ まとめセミナー・決算発表会

△ まとめセミナー：参加児童に税金や銀行の仕組みについて学び、ワークショップでは決算報告書を作成した。最後に現金を分配し（税金〔利益の一割⇒市に寄付〕、株主配当〔株主となった保護者へ〕、役員報酬〔参加児童へ〕、株券買戻し金〔株主となった保護者へ〕、借入金〔模擬銀行となった商工会議所青年部へ返金〕、借入利息を支払い、模擬会社を解散した。

△ 決算発表会：模擬会社ごとに、それぞれの活動および決算状況を報告した。

## <まとめセミナーの様子（写真）>

税金の講義を受ける参加児童



両替と計算に奮闘



参加児童へ高城委員長からプレゼント



税金・利益の計算



税金を納め会社を解散



協賛看板



（協賛看板は販売実践でも掲示）

## <決算発表会の様子（写真）>

開会式



決算に対して聴講者からの鋭い質問



発表する参加児童



修了証書授与



## ▽ 寄付金贈呈式（納税）

- △ いわき市長に、東日本国際大学へお越しいただき、販売実践の利益から（税金の仕組みを学ぶため、各チームから「法人税」の名目で徴収）預かる現金（16,000円）の目録をいわき市へ贈呈した。

## <寄付金贈呈式（納税）の様子（写真）>

各社社長より目録を受け取るいわき市長



## ▽ グランプリ表彰式

△ グランプリ、準グランプリ、ひまわり信用金庫賞、東洋システム株式会社賞を発表し、受賞会社を表彰した。審査方法は、これまで実施した事業計画やイトーヨーカドー平店で実施した販売実践での商品や接客の様子、そして表彰式前に実施した決算発表会での成果報告等（事業計画の遂行状況、目標の達成度、販売実践での利益）を、ひまわり信用金庫の職員の方々やいわき商工会議所青年部会員が採点した。

### 各賞及びチーム名

各賞	チーム名	小学校名	学年	主な商品
グランプリ	(株) ForestHarmony	夏井	6年	いわき野菜たっぷり！コンソメスープ、一筆箋 他
準グランプリ	(株) shynysmile	中央台東	6年	ホットドッグ、ハワイアンコースター、しおり 他
ひまわり信用金庫賞	(株) Happydream	中央台東	6年	電球ソーダ、ハイビスカスコースター 他
東洋システム（株）賞	(株) ほしぞら	中央台南	5年	ほしぞらドリンクコースター 他
—	(株) POPSmile	中央台東	6年	タピオカドリンク、イヤリング、キーホルダー 他
—	(株) Flower.nico	中央台東	5年	ポップコーンくるみボタン 他

【グランプリ】



【準グランプリ】



【ひまわり信用金庫賞】



【東洋システム（株）賞】





## <グランプリ表彰式の様子（写真）>

ひまわり信用金庫 本店営業部 新城部長（理事長代理）、いわき商工会議所青年部 会員（東洋システム株式会社 代表取締役代理）及びいわき商工会議所 小野総務 理事（会頭代理）からトロフィーを受け取る各チーム。



## □ ご意見・ご要望など

### 《参加児童アンケートより》

- ・ 半年ジュニエコをやって給料が千円くらいだったので暮らしていくためのお金をかせぐのは凄く大変だなと思いました。
- ・ お金の大切さが分かりました。利益を多く出すために商品の工夫も沢山しました。まだ分からない部分もあるけれど、今後、社会に役に立つときに活かしたいです。
- ・ （お金をかせぐことは）楽しいと思います。社会人はかせいだお金を取られてしまう人がいるので、本当に可哀想だと今更ですが思います。
- ・ この5人でやって、ぶつかった時もあったけど、何とかやってくる事が出来ました。特に販売実践の時は忙しかったからこそ仲が深まったと思います。
- ・ お金の仕組みについて勉強することが出来て、母や父が苦勞してお金をかせいでいることを実感しました。  
仕事をする事の大変さや楽しさを学ぶことのできる良い体験になりました。
- ・ 最初はすごく心配だったけど、やっていくうちにとても楽しくなってきた、この4人で良かったとすごく思いました。販売実践では、大きな声を出しお客様の喜んでる顔が見れて良かったです。

### 《サポーターアンケートより》

- ・ ジュニエコの内容を分かりやすく、販売当日に看板にしたら、一般の方が見に来やすかったのではないかと思います。

- ・ 皆で協力することの大切さ、働くことの大変さ、計画、責任の重要性など学ぶことができた。多くの人に協力してもらっていることに（子どもが）気づいたことが良かった。準備、当日など保護者の負担が大きい。
- ・ 初めて参加しました。テキスト等に前年の写真を載せていただけるとどのような感じなのか、イメージが出来やすいのかなと思いました。
- ・ 始めは自分たちの作りたい物を考えていたが、考えていくうちに、どういう物なら買ってもらえるだろうとお客様の立場になって考えることが出来たところが良かったです。
- ・ 今回、参加するにあたり他校の同世代の子に内容を伝えたところ知らない方が多かった。もう少し宣伝をしても良いのでは…。今回も、以前に参加したこともあり、子供の自主性、主体性で参加してますが、他校が親の介入が多い印象を受けました。目的の趣旨としてよろしいのでしょうか。
- ・ 皆で協力することの大切さ、働くことの大変さ、計画、責任の重要性など学ぶことができた。多くの人に協力してもらっていることに気づいたことが良かった。準備、当日など保護者の負担が大きい。
- ・ 初心者にはわかりにくいところがある（事前準備の進め方など）。（保護者に）経験者が居たので上手くいったが、居なかったら大変でした。

○ 上記のご意見の他にも多数の厳しいご意見や温かいお言葉をいただきました。アンケートにて、いただいた内容を精査し次年度以降の事業に繋げていきます。

## □ 総 括

本年度で9回目の実施となった「ジュニアエコノミーカレッジ in いわき」でしたが、本年度の運営の面では、先ず、会場確保については、台風第19号及び10月25日豪雨の影響により販売実践等が延期になりましたが、平第一小学校、イトーヨーカドー平店及び東日本国際大学のご協力により、会場を確保いただき、スムーズな運営ができました。また、参加児童の販売商品や店の飾付けにも多くの工夫が見られ、これまでの最短の時間で、全ての商品が完売となったことから、非常に意識が高い児童に参加いただいたと考えられるとともに、こどもにとって良い事業であると保護者の方々が認識されていることにより、昨年度に引き続き参加した児童や、以前に参加した兄姉に続いて参加いただき、参加児童が事業の流れに慣れていたことが考えられ、事業が非常に浸透していると感じました。しかしながら、3頁の募集結果にも述べたとおり、昨年度と比較すると参加児童及び小学校数が減少したことから、事業の広がりには進んでおらず、周知方法を検討していくべきとも感じました。

今後は、年度の早い段階から、募集を実施するとともに、事業の目的である、地域の次世代を担うこどもたちに「生きる力」、「考える力」を育んでもらうとともに、事業を通して起業家として大切な人と人との繋がりを強固にさせていただくことも考えながら、事業を実施したいと考えております。

最後になりましたが、本年度の実施において、多くの企業・団体の方々に後援、協力、協賛をいただき事業を無事に終了することが出来ました。皆さまのいわき商工会議所青年部活動に対する深いご理解に感謝申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



【いわき商工会議所青年部】

製作者：ひとづくり委員会 委員長 高城 康／担当：ひとづくり委員会

住 所：〒970-8026 いわき市平字田町 120 ラトブ 6 階

電話／FAX：0246-25-9152／0246-25-9155